

令和8年度環境保全茨城県民会議表彰 受賞者と活動のご紹介

【ほう賞】

(一般部門/団体の部)

(敬称略)

| No. | 団体名 | 活動及び功績概要 |
|-----|--|--|
| 1 | とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 しー いんぐ SEA.ing ・活動内容/ 自然環境保全、環境学習 ・活動年数/3年間 | 市民がみずから漂着ゴミの現状に目を向け、環境意識を醸成できるように、“レジャーとしてのビーチクリーン”の実現を目指して、月に一度、銚田市を中心に海岸でのビーチクリーンを実施している。これまでに中高生・大学生の若い世代を中心に300人を超える参加があり、500袋以上の漂着ゴミを回収しており、環境保全への貢献は大である。 また、あわせて学生を対象とした環境講演事業も実施するなど、将来を担う世代に好影響をもたらし、継続性及び発展性が大いに期待される。 さらに、2025年度からはドローンを用いた映像からごみ量やビーチクリーンの効果を定量化する研究的な側面にも力を注いでおり、地域との連携と最先端技術の活用によって漂着ゴミ問題の解決に寄与することが期待される。 |
| 2 | とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 まさごやまふあんくらぶ 真砂山FUNクラブ ・活動内容/ 自然環境保全、環境学習 パートナーシップの形成 ・活動年数/5年間 | 地域の活性化と魅力向上を目指して、「神の池」とされている大神宮所有の阿漕ヶ浦(あこぎがうら)周辺の環境整備及び環境保全活動を、行政や地域住民等と連携して継続的に実施している。 その活動内容は、釣り禁止の看板設置、草取り等湖畔の整備活動をはじめ、憩いの場を作るための休耕地でのからし菜栽培及び種からマスタード作り体験の実施、スカシユリ増殖支援、自然・歴史・科学を学び楽しむ地域勉強会等の開催、村松海岸の魅力を知り楽しみ・体験する海岸清掃の実施等多様で、地域住民の郷土愛及び環境保全意識の醸成に大きく貢献している。また、将来的に植生等の環境調査や外来魚駆除などの取り組みの促進も期待される。 |
| 3 | みとししかわがわりゆういきかてい 水戸市石川川流域家庭 ざっぱいすいたいさくきょうぎかい 雑排水対策協議会 ・活動内容/ ごみ減量化、水質浄化、 自然環境保全、環境美化 ・活動年数/43年間 | 石川川の水質浄化及び流域の環境を保全するため、市民、事業者、行政が一体となり石川川の清掃活動を長年にわたり継続実施している。 協議会の会議の開催や、約300名が参加する現地清掃及びフナ等の稚魚の放流により、河川環境の維持への関心が高まり、清掃時のゴミの量も年々減少しており、地域の環境保全に大きく寄与している。 この清掃活動を継続することにより、環境保全、景観美化、健全な生態系の維持が見込まれるとともに、他主体との連携や多世代交流による事業の長期継続、活動の発展が期待される。 |
| 4 | キャノンオプトロン株式会社 ・活動内容/ 温暖化防止、ごみ減量化・ リサイクル、自然環境保全、 パートナーシップの形成 ・活動年数/4年間 | 2022年より、構内緑地の除草を、草刈り機に代わって、ヤギに草を食べてもらう「環境配慮型生物除草」を導入し、従来の草刈り機による作業で使用したガソリン(1回あたり約50、年間で約14回稼働)の消費削減とそれに伴うCO ₂ 排出、廃棄物(草)、騒音のいずれも発生しない「トリプルゼロ」を達成し、環境負荷低減に大きく貢献した。 さらに、近隣の保育園児を対象に「ヤギとのふれあいイベント」を開催し、地域社会との交流促進に努めている。また、事業所周辺の環境美化活動で集めた落ち葉で腐葉土を作製して、構内の生物多様性保全活動に使用して資源循環に努めるなど、環境保全に寄与している。 |
| 5 | キャノン株式会社 取手事業所 ・活動内容/ 温暖化防止、ごみ減量化・ リサイクル、自然環境保全、 パートナーシップの形成 ・活動年数/10年間 | 2015年から現在まで10年間にわたり、地域自治会と従業員ボランティアが連携して環境美化活動を行い、地域環境の保全に貢献している。 また、2022年より事業所内に取手バードブランチプロジェクトとして巣箱やバードバスを設置して、野鳥類の生息環境を整えるとともに、敷地内に自生している絶滅危惧Ⅱ種の「キンラン」(和ランの一種)の保護活動を行うなど、生物多様性の保全に大きく寄与している。 |

※ キャノンオプトロン株式会社様及びのキャノン株式会社取手事業所様の活動年数については、ほう賞の対象となった活動の期間であり、環境マネジメントシステム等による企業活動はさらに長期間実施していらっしゃいます。